

令和 6 年度事業経過報告書

1 事業経過報告

次のとおり事業を執行した。

(1) 会員の拡充

入会勸奨事業として調理師試験準備講習会を模擬試験含む 4 会場で開催。健康福祉センター（保健所）単位の支部合同開催及び本部主催会場で実施し、受験者が効率的に勉強できるよう補助テキストの作成をした。新型コロナウイルス感染症も第 5 類に移行し通常の開催となったが参加者は中々戻らず昨年と同様であった。

千葉県調理師講習会でも参加者の大幅増は厳しく、この状況下で会員増は難しく昨年度より 444 名の減、会員数は 2,278 名であった。

(2) 第 16 回県委託調理師業務従事者届出受理作業

第 16 回の届出受理件数は 33,326 件であった。今回より報告形式が変更になり、より正確な詳細な情報の提出が必要となった。

(3) 県委託千葉県調理師講習会事業

平成 28 年 4 月 1 日から施行された「調理師による県民の食生活の向上に関する条例」の第 5 条に「飲食店営業等における調理の業務を行う調理師は、その資質の向上のため、知事が指定する講習を 5 年ごとに受けるよう努めなければならない。」等と定められている。

千葉県調理師講習会の第 9 回目。調理師免許を取得し、県内で飲食店営業等における調理業務に従事している者に対し、その資質の向上のため、時代に即した調理の知識の習得、更なる調理技術の向上のため、栄養と健康・食品衛生・食文化・調理学のうち 3 科目以上を学ぶ講習会である。新型コロナウイルス感染症が第 5 類に移行し、通常開催が可能となったが、まだ状況は厳しく参加者は少ない。9 会場 269 名と今年初のオンライン講習で 26 名、全部 295 名の調理師が受講した（調理師免許新規取得者研修受講者も含む）。

(4) 県委託千葉県調理師講習会（調理師免許新規取得者研修）事業

平成 28 年度から「千葉県調理師講習会」の一環として本部開催されることになった。新規に調理師免許証を取得し、県内で調理業務に従事している者に対し、時代に即した調理の知識の習得、更なる調理技術の向上のため、栄養と健康・食品衛生・食文化・調理学を学ぶ講習会である。今年度の会場は賛助会員のトーセイホテル&セミナー幕張の大会議を使用した。感染症には引き続き注意を払って講習会を実施した。

(5) 県補助金事業食と健康推進講習会

県民の健康づくりを推進するため、一般県民を対象として、千葉県産の食材を活用し、健康づくりに配慮した調理法等の講習会を当会調理師が講師となって県内複数の地域にて開催。16 会場で 690 名の一般県民が参加した。

(6) 調理技術指導員講習

厚生労働省健康局長通知（平成 13 年 3 月 30 日付健発第 407 号）に基づき、飲食店等の調理業務従事者に対して調理技術の指導に当たる調理師を養成することを目的とする。修了者には（公社）日本調理師会会長から修了証書が交付された。

調理業務従事年数 25 年以上の調理師を対象とする。

令和 7 年 2 月 17 日、県行政・関係団体の専門家を講師に招き、28 名の対象調理師が受講した。

(7) 第 62 回千葉県調理師大会(優良調理師表彰授与式)

大会開催運営は本部担当の表彰大会とし、千葉県後援により、関係行政のご出席をいただき、令和 6 年 10 月 22 日「塚本大千葉ビル 7 階」において開催した。表彰式会場において令和 6 年度優良調理師の表彰を行った。大会を通して、支部間の交流と食文化の発展、県民の食生活の向上・健康増進に寄与するため、調理師の資質の向上を図った。

第 35 回料理コンクールは次年度へ延期となった。

〔千葉県知事表彰受賞者……優良調理師 4 名〕

船橋支部	渡邊憲一郎	印旛支部	塚田 文雄
銚子支部	宮内 邦子	技能士会支部	蒔田 貢久

〔千葉県健康福祉部長表彰受賞者……優良調理師 6 名〕

船橋支部	飯島 永三	柏支部	黒澤 久榮
船橋支部	打川 敏子	銚子支部	長谷川政代
市原支部	中村 雅人	千葉県集団給食協議会連合会	田中 一成

〔(公社)日本調理師会会長感謝状……調理師功労 6 名〕

船橋支部	松原 俊久	市川支部	湯浅 幸雄
船橋支部	池田 頼隆	柏支部	矢嶋 修
市原支部	志村 宏	親和会支部	岩波 暁

〔(一社)千葉県調理師会理事長表彰受賞者……調理師功労 7 名〕

船橋支部	渡邊 優	柏支部	山口 靖之
銚子支部	長谷川 正	柏支部	海老澤雅之
銚子支部	辻 咲子	市原支部	瀧澤 雅幸
千葉県ふぐ連名部	泉水 麻里		

(8) 第 26 回調理師の声発表会は次年度へ延期

(9) 第 35 回千葉県調理師会料理コンクールの開催は次年度へ延期

(10) **優良調理用資材・器材等、商社展示会の開催は次年度へ延期**

第 62 回千葉県調理師大会が表彰式典のみの開催となったため、次年度へ延期となった。

(11) **関係団体との交流促進**

公益社団法人千葉県栄養士会、公益社団法人千葉県食品衛生協会、千葉県飲食業生活衛生同業組合と交流事業の活性化を図った。

(12) **調理師試験準備講習会の開催**

公益社団法人調理技術技能センターの協力を得て、「過去 3 年の調理師試験問題と解答」を作成して受験者に対応した。

更に講習会講師を公益社団法人千葉県栄養士会と公益社団法人千葉県食品衛生協会の協力により依頼のあった支部に派遣した。講習会受講者数は感染症の影響がまだ色濃く残ることと会場数が減ったこともあり 85 名だった。

調理師試験、調理師試験準備講習会案内のチラシ兼申込用紙を作成、各支部等に配布し周知を図った。

(13) **調理師手帳、会員証、認証、ステッカーの活用促進**

調理師手帳、会員証、認証及び調理師のいる店ステッカーの活用と普及促進、社会的身分保証等会員の便宜のため、また財政・組織の強化のために活用と普及促進を図った。

(14) **広報活動の推進**

会員への情報提供として広報 FAX 通信を随時 4 回発行した。ホームページには事業等の情報、年間行事予定、料理コンクール受賞作品等の掲載をした。

(15) **会員への研修事業は次年度へ延期**

今年度は県本部事業が重り繁忙を極めるため次年度に延期となった。

(16) **調理師の身分確立の推進**

調理師に関する条例は、県内の飲食店の施設ごとに調理師を置くことを努力義務とし、平成 28 年 4 月 1 日に施行され、施行に伴う「千葉県調理師講習会」も今年度 9 回目がスタートし、県内複数の地域にて開催。感染症には最大限の注意を払いながら開催し 9 会場で 269 名、今年初のオンライン講習で 26 名の全部で 295 名の調理師が受講した。

県庁担当課とも度々話し合い開催内容の充実に努めた。今後もさらに調理師の身分の確立を真剣に進めていく。

(17) **令和 6 年度秋の叙勲受章者**

令和 6 年 11 月 3 日に秋の叙勲が発表され、金子金平名誉会長が旭日双光章を受章

された。

11月7日に千葉県庁において県の伝達式、11月18日にホテルニューオオタニにて国の伝達式、その後、皇居宮殿「豊明殿」にて天皇陛下拝謁と記念撮影が行われた。

(18) 令和6年度調理師関係功労者厚生労働大臣表彰等受賞者

令和6年11月27日にイイノホールにおいて、次の2名が厚生労働大臣表彰の栄に浴した。

【労働大臣表彰】

調理業務功労者	西宮 智宏(銚子支部)
調理業務功労者	石川 秀雄(長生支部)

(19) 会員への福利厚生事業

会員の福利厚生を図るため、アメリカンファミリー生命保険会社の「がん保険」を継続した。

(20) 一般社団法人としての会の運営

平成24年4月に一般社団法人に移行が完了し、千葉県調理師会は一般社団法人（非営利型）に移行した。法人税制上、公益法人等として取り扱われる。

公益目的支出計画は終了し、公益目的支出計画実施報告書の内閣府への提出も完了した。将来の公益社団法人登録を目標として明確な事業活動を進めて行く。

また、総会終了後2週間以内に、登記内容の変更事項を法務局へ登記申請をした。